

1992年度カンヌ国際映画祭
パルム・ドール/主演女優賞受賞



脚本:イングマル・ベルイマン 監督:ビレ・アウグスト

愛の風景

DEN GODA VILJAN

ベルニラ・アウグスト サムエル・フレイレル マックス・フォン・シドー ギター・ナーウ
撮影:イェルゲン・ベーション 音楽:ステファン・ニルソン 編集:ヤヌス・ビレスコウ・ヤンセン 美術:アンナ・アスプ メイクアップ:シエル・グスタフソン 衣裳:アン・マリ・アンティラ 製作:ラッシュ・ビエルケスグ 製作総指揮:イングリッド・ダールベリ
SVT1 Drama,ZDF,Channel 4, RAIDUE, La Sept,DR,YLE2, NRK, RUV © Sveriges Television1 Drama MCMXCI

配給 KUZUIエンタープライズ



●ベルイマンへの賞賛と、ビレ・アウグスト2度目の栄冠

1992年、45回の節目の年を迎えたカンヌ映画祭は、最もヨーロッパ的で荘厳な風格をたたえた映画「愛の風景」に、最高賞パルム・ドール（グランプリ）を贈った。カンヌ通なら、88年に「ペレ」でグランプリをとったばかりのビレ・アウグスト監督が、たった4年を置いただけで2度目の栄冠を手にするとは予感しなかったに違いない。これまで44回の長い歴史の中で、2度グランプリをとったのはフランシス・コッポラただ一人（ルネ・クレマンが1回目のグランプリと2回目の冒険探偵映画賞——部門ごとにグランプリを設定——を受賞している）。しかも2度目の「地獄の黙示録」は「ブリキの太鼓」とのダブル受賞だった。壇上で、一足先に主演女優賞をもらっていた夫人のベルニラ・アウグストと固く抱擁しあうアウグスト監督に、人々は心からの拍手を贈った。それはこの二人への祝福であると同時に、自分の両親のことを語った脚本を提供したイングマル・ベルイマンへの限らない尊敬の意でもあった。

●あらゆる人に贈る、あらゆる愛を内包した映画

ビレ・アウグストは言う。「私にとってこの映画はラブ・ストーリー以上のもの。愛に人間の心理や歴史が織り混ぜられた一大叙事詩なのです」と。まさしく二人の愛の物語の中には、あらゆる「愛」がちりばめられ、その重さを静かに訴えかけてくる。人間にとって一番重要なもの。愛を育てていくことの難しさ。本当の愛とは何なのか……。ここには、時代や国境を超えた、人間の永遠のテーマが息づいている。

また、ベルイマンによる自由なイメージの創造があったとはいえ、主人公二人の会話、聖職者としての父の思い、階級の差に悩まされる二人の關係に、ベルイマンの精神構造を解いてみるのも興味深い。映画のラストシーンで母のおなかの中にいたベルイマンが、彼のフィルターを通して語った父と母の肖像なのだから。

●ヨーロッパの二つの才能が手を取りあった幸福

「ファニーとアレクサンデル」を最後に映画を作らないことを断言していたベルイマンは、1988年、自叙伝「ベルイマン自伝」執筆の最中に、自分の両親の物語を脚本化しようと決意した。神学校に学ぶ貧しい青年と、上流階級の美しい娘。二人が出会って恋を芽生えさせ、周囲の人々の反対をおしきって結婚し、環境の違いによるいさかきを乗り越えて互いを理解し合うまでの物語。ベルイマンは即座にこれを映画化すべく、スウェーデンのテレビ局に脚本を持ち込んだ。

1989年、ベルイマンはカンヌ映画祭グランプリと米アカデミー賞最優秀外国語映画賞に輝いた「ペレ」を見てたちまち虜になっていた。彼の強い要望を受けて、ビレ・アウグストのもとに「愛の風景」の脚本が届けられた。ストレートで深遠なストーリーに魅せられ、感動したアウグストは、当時既にオファーの来ていたハリウッドの仕事を断り、すぐさまこの映画にとりかかることを決めた。

こうしてヨーロッパを代表する二つの才能の幸福な結婚が実現し、ドイツ、フランス、イギリスをはじめ計9ヶ国という名実ともにヨーロッパ中の資金を集めて世紀のプロジェクトがスタートしたのである。

●スウェーデン映画界の最高スタッフが集合

1990年7月に開始された撮影は8ヶ月をかけて終了。台詞のある登場人物だけでも63人に及んだというからキャスティングの苦労は想像に難くない。スウェーデンの舞台出身で、ベルイマンとの仕事の経験もあるベルニラ・アウグストは、ベルイマンの母に当たるアンナ役に抜擢され、見事その期待に応えてカンヌ映画祭主演女優賞受賞の素晴らしい演技を見せている。父に当たるヘンリックには、テレビ出身の人気俳優サムエル・フレイレル。ベルイマン映画の常連で、「ペレ」で陰影濃い父親像を見せた名優マックス・フォン・シドーが、アンナの父ヨハン役に出演している。

また、衣装やセットには細心の注意が払われ、その美しさは筆舌に尽くし難い。カメラは「ペレ」に引き続きイェルゲン・ベーションが、美術を「ペレ」の他「秋のソナタ」「ファニーとアレクサンデル」（米アカデミー賞美術賞受賞）などベルイマン作品でお馴染みのアンナ・アスプが担当している。



（スタッフ）監督：ビレ・アウグスト/脚本：イングマル・ベルイマン/撮影：イェルゲン・ベーション/美術：アンナ・アスプ（キャスト）サムエル・フレイレル/ベルニラ・アウグスト/マックス・フォン・シドー
1992年度作品/スウェーデン・デンマーク・フランス・イギリス・ドイツ・イタリア・ノルウェー・フィンランド・アイスランド合作映画/ビスタビジョン・カラー・ステレオ作品/上映時間：3時間/字幕スーパー翻訳：岡枝慎二



1992年度カンヌ国際映画祭 パルム・ドール(グランプリ)受賞
主演女優賞(ベルニラ・アウグスト)受賞

愛の風景

DEN GODA VILJAN

配給/KUZUIエンタープライズ



1月15日(祝)特別ロードショー!

特別鑑賞券¥1700(当日¥2000の処)

原作本「愛の風景」(I.ベルイマン著/岡枝慎二訳)2月下旬発売(世界文化社刊)

日比谷シャンテ・合歓の広場前

シャンテシネ1

03
(3591)
1511

連日 11:30 3:00 6:30 (終映9:40)